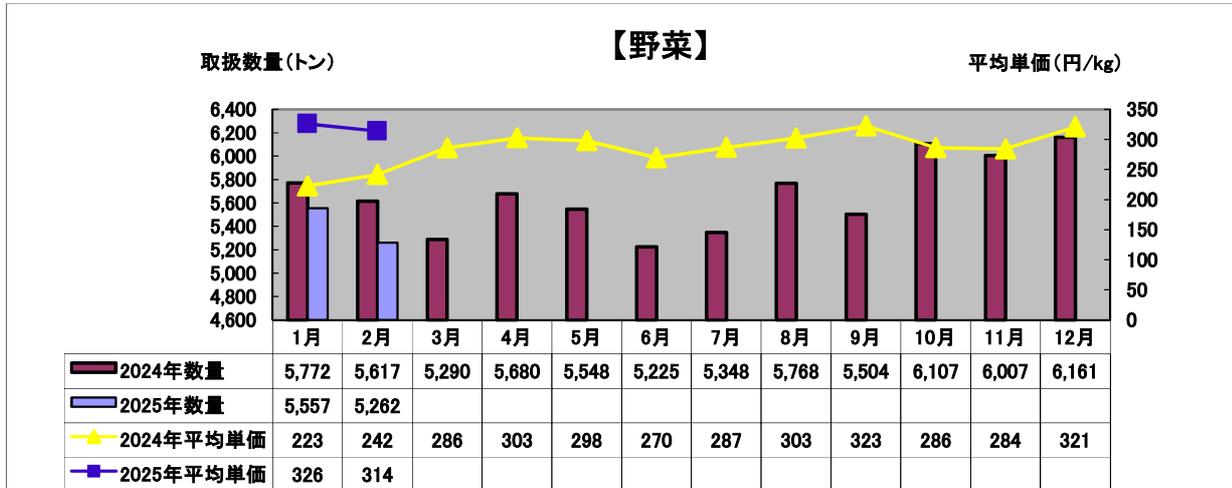
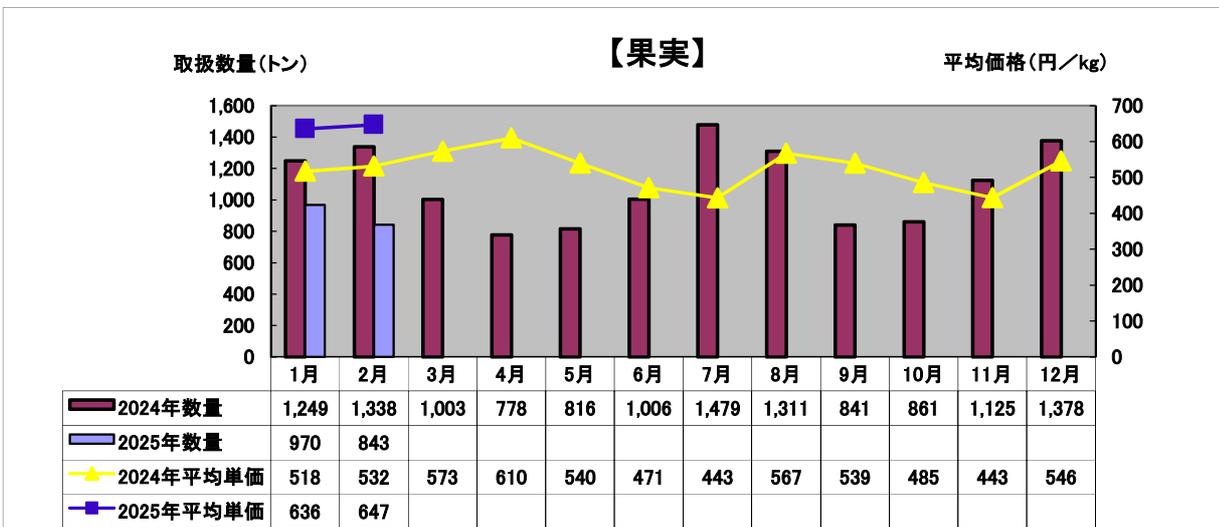


令和7年(2025年)2月 青果部種類別市況



2月の野菜類は、乾燥、干ばつが続き朝晩の低温も多く、特に露地物についてはあまり良い生育環境ではありませんでした。前年に比べ数量はやや減少し、平均単価はかなり高く推移しました。

前年比数量 94%、単価 130%で終了しました。



2月の果実類は、数量はかなり減少しました。単価についてはかなり高く推移しました。

前年比数量 63%、単価 122%で終了しました。